MBJ

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、お買い上げの販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口まで次のことをお知らせの上、ご相談ください。

① 製品名　② 品番　③ 製品の状況（できるだけ詳しく）

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

本書に記載の意匠、仕様および部品は、性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。

※ 中せん、パッキン類は消耗品です。1年をめやすにご確認ください。
中せんの樹脂がザラザラしていたり、損傷している場合は、新しい部品に交換（有償）してください。
消耗のある場合は、お買い上げの販売店または、下記「お客様ご相談窓口」で、品名・品番をご指定の上、お買い求めください。

連　絡　先

タイガー魔法瓶株式会社　本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570-011101**
市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　AM9:00～PM5:00
月曜日～金曜日
（祝日・弊社休業日を除きます）

※携帯電話・PHSの方はこちらへ
TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/

TIGER タイガー魔法瓶

品　番
MBJ型

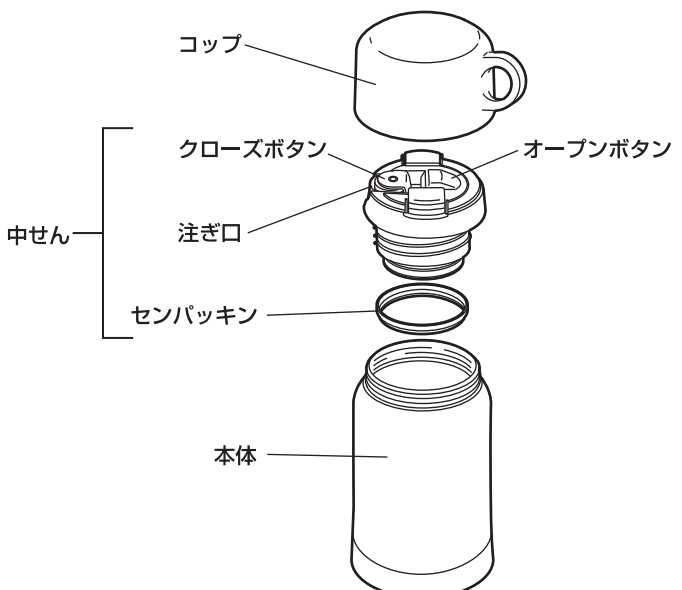
タイガーステンレスボトル
<サハラミニ®>

取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

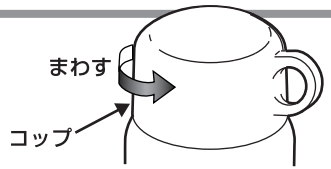
各部のなまえ



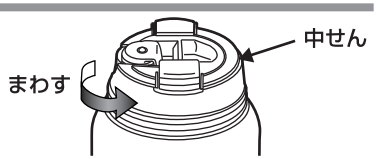
飲み物を入れる

ご使用前に必ず、コップ、中せん、本体内側を洗ってからご使用ください。

1. コップを矢印の方向にまわしてはずす。



2. 中せんを矢印の方向にまわしてはずす。

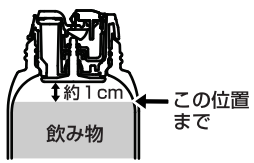


3. 飲み物を入れる。

- あらかじめ少量の熱湯（冷水）を入れ、予熱（予冷）すると効果的です。

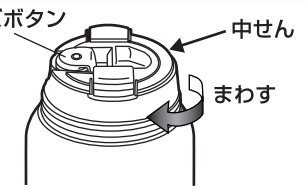
ご注意

飲み物の量は、右図の位置までにしてください。
飲み物を入れすぎると、オープンボタンがかたくなります。
そのような場合は無理やり押さず、一度中せんをはずしてから、少量の飲み物を捨ててください。

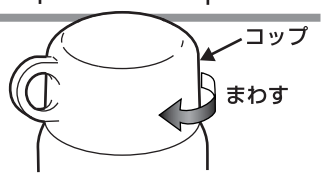


4. 中せんを矢印の方向にまわしてしめる。

- 中せんを確実にしめた後、必ずクローズボタンを押してください。



5. コップを矢印の方向にまわしてしめる。



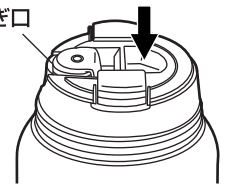
かばんなどに本製品を入れる場合は、万一のもれを防止するために、必ず立てて入れてください。

飲み物を注ぐ

1. コップをはずす。

2. 中せんのオープンボタンを押して、注ぎ口を開く。

- 熱湯を入れて振動を加えると、オープンボタンがかたくて押せないことがあります。このときは無理やり押さず、一度中せんをゆるめ、オープンボタンを押し、そのままし めなおしてください。オープンボタンを押した際に「シュッ」という空気が抜ける音がしますが異常ではありません。



ご注意

製品を傾けた状態や、顔などを近づけた状態で、中せんのオープンボタンを絶対に押さないでください。中の熱湯が勢いよく出て、やけどをするおそれがあります。

3. 注ぎ口側に傾け、コップに飲み物を注ぐ。

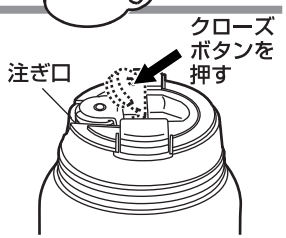
ご注意

ポーチのハンドルを持って飲み物を注ぐ場合は、注ぎ口の方向を確認してから注いでください。



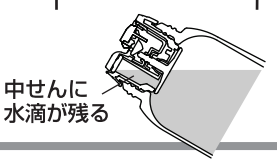
4. 中せんのクローズボタンを押して、注ぎ口を閉じる。

- 注ぎ口を閉じるときは、必ず製品をまっすぐに立てた状態にして、2〜3秒後にクローズボタンを押してください。



ご注意

製品を傾けた状態でクローズボタンを押すと、中せんの内部に少量の「水滴」が残ることがあります。この水滴が後からもれて、衣服やかばんなどを汚すことがありますので、必ず製品をまっすぐに立ててからクローズボタンを押してください。



5. コップをしめる。

- コップは最後までしっかりとしめてください。
- コップの内側に残った「水滴」は振り切った後、よくふいてください。

お手入れ方法

ご使用後は、いつまでも清潔にご使用いただくために、必ずその日のうちにお手入れをしてください。

ご注意

- コップ、中せん、ポーチを本体にセットしたまま丸洗いしないでください。
  お手入れするときは、製品を分解してから行ってください。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。
- 本体やコップ、中せんの煮沸および、食器洗浄機や食器乾燥器などは使用しないでください。熱による変形や、もれの原因になります。
- シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。傷やサビ、故障の原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。さびたり穴があく原因になります。

コップのお手入れ

- コップは丸洗いできます。
  柔らかいスポンジで洗った後に水洗し、充分に水分をふき取ってください。

本体のお手入れ

- 本体は流し洗いができます。

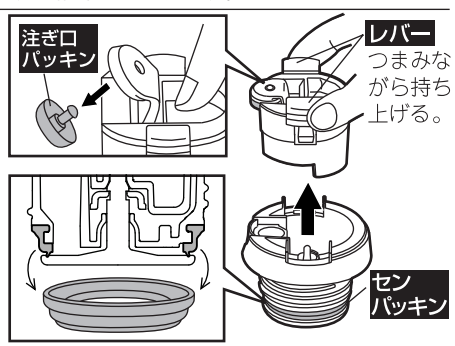
①水またはぬるま湯を使用し、柔らかいスポンジで流し洗いをします。
②乾いた布ですぐに水分をふき取り、充分に乾燥させます。

ご注意 本体はつけおき洗いをしないでください。本体内部への水浸入によりサビが発生し、保温・保冷効果が低下するおそれがあります。

中せんのお手入れ

- レバーを、つまみながら持ち上げると、2つに分解され、丸洗いできます。
  柔らかいスポンジで洗った後に水洗し、内部の水分を充分に振り切り乾燥させてください。また、注ぎ口パッキン、センパッキンも取りはずして洗浄することができます。

※パッキンは、方向を間違えないように正しくセットしてください。正しくセットされていないと、内容物がもれたり、保温・保冷効果が低下する原因になります。



ポーチのお手入れ

- ポーチは丸洗いできません。
  お湯を布に含ませて、かたくしぼってからポーチをふいてください。

長期間使用しないとき

汚れをきれいに落とし、充分に乾燥させてから清潔な場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

下記の点検を行っても、なお不具合がある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときには	確かめてください	参照ページ
中せんから水もれする	● 中せんの内部に内容物が残っていませんか。 ● 内容物を入れすぎていませんか。 ● パッキンが正しく取りつけられていますか。 ● 中せんが正しくセットされていますか。 ● 本体や中せんの煮沸および、食器洗浄機や食器乾燥器などを使用していませんか。 ● 中せんやパッキンが消耗していませんか。 ● 製品を落下させたり、激しい振動を加えたりしていませんか。	3ページ 2ページ 4ページ 2ページ 7ページ 8ページ 7ページ
オープンボタンが押せない	● 内容物を入れすぎていませんか。 ● ドライアイスや炭酸飲料などを入れていませんか。	2ページ 6ページ
本体内側が変色した	● 「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着していませんか。 ※本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより、サビのような汚れやカルシウム分などが付着する場合があります。このような場合は、クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて入れ、2～3時間後に柔らかいブラシできれいに洗った後、水で充分にゆすいでください。	―――
保温（保冷）が効いていない	● 熱い（冷たい）内容物を入れていますか。 ● 内容物の量が少なくありませんか。 ※寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	――― ―――
本体内側や中せんから異臭がする	● 汚れが付着していませんか。 ● 内容物を長時間入れたままにしていませんか。	4ページ 4ページ

必ずお守りください

もれたりあふれたりすると、やけどや他のものを汚す原因になります。

幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには充分にご注意ください。

けがなどのおそれがあります。



熱いものを入れた場合は、本体から直接飲まないでください。

やけどなどのおそれがあります。



ポーチのベルトを持って振り回さないでください。

人や物に当たると危険です。

注ぎ終わったら、本体を立てた状態にして、必ずクローズボタンを押してください。

内容物がもれるおそれがあります。

本体、コップ、中せんの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥器などを使用しないでください。

熱による変形や、もれる原因になります。

飲料物の保温・保冷以外には使用しないでください。

次のものは入れないでください。

●ドライアイス、炭酸飲料など

内圧が上がり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せん、コップなどが破損して飛び散るおそれがあります。

●牛乳、乳飲料、果汁など

腐敗、変質の原因になります。また、そのまま長く放置した場合、腐敗、変質によりガスが発生し、内圧が上がり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せん、コップなどが破損して飛び散るおそれがあります。

●みそ汁、スープなど塩分を含んだもの

さびるおそれがあります。

●お茶の葉、果肉など

目づまりや、もれる原因になります。

本体を流し洗いした後は、すぐに乾いた布で、水分をふき取ってください。

水分をふき取らないと「水滴」のあとが本体に残ったり、サビの発生や他のものを汚すおそれがあります。

本体はつけおき洗いをしないでください。

本体内部への水侵入によりサビが発生し、保温・保冷効果が低下するおそれがあります。

製品を傾けた状態や、顔などを近づけた状態で、中せんのオープンボタンを絶対に押さないでください。

中の熱湯が勢いよく出て、やけどをするおそれがあります。

コンロやストーブなどの、火気のそばには近づけないでください。

樹脂部の変形、変色の原因になります。

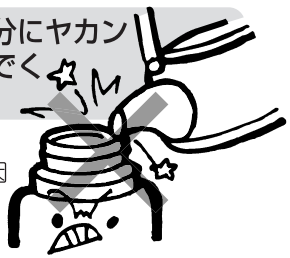
中せんは確実にしめ、必ずクローズボタンを押してください。

内容物がもれるおそれがあります。

ご注意とお願い

本体の肩部分にヤカンをあてないでください。

転倒したり、傷や変形の原因になります。



倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。

表面がへこみ、保温・保冷効果が低下したり、もれるおそれがあります。また本体に傷がつくと、さびたり、お手入れの際に、塗装がはがれたりすることがあります。

ポーチは丸洗いしないでください。

丸洗いすると生地のほつれ、縮みや色落ちの原因となります。

ポーチをぬれたまま使用しないでください。

衣服などに色が着くことがあります。

熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。

本体内側にはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどのご使用をおすすめします。

塩素系漂白剤は使用しないでください。

さびたり穴があく原因になります。

シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

傷やサビ、故障の原因になります。

大きな氷を入れる場合は、押し込まず、小さくしてから入れてください。

製品がぬれている状態で、ポーチに入れたまま放置しないでください。

周囲の環境（湿度、塩分など）により、サビやにおいが発生することがあります。